

医療関係防護服【アイソレーションガウン】の米国基準評価試験を開始 感染者の血液・体液等から 医療従事者を守る

一般財団法人ニッセンケン品質評価センター（本部：東京都台東区蔵前、理事長：駒田展大）はこのたび、医療用物資の1つである【アイソレーションガウン】の米国基準に基づく世界的評価試験を開始しました。

人々を守る医療従事者、そして医療従事者を守る医療用物資

世界的な新型コロナウイルス感染拡大によって、改めて医療用物資の大切さが意識されています。『医療崩壊』というショッキングな報道がされるたびに、医療従事者が身に着ける高性能のマスクやガウン等の不足も取り上げられてきました。人々を守る医療従事者、そして、その医療従事者を守る医療用物資。



二次感染防止に有効なアイソレーションガウンのバリア性能

医療従事者は、感染症患者の血液や体液などが原因となる二次感染リスクに常にさらされています。

そのため AAMI(米国医科器械学会)は、水・合成血液・バクテリオファージなどへの液体防御性能基準を設けています。これは医療用防護服類のバリア性を担保するもので、医療従事者の感染防止・院内パンデミック防止に大いに役立っており、世界的に採用されている基準となっています。WHO(世界保健機関)でも、医療用ガウン等の性能担保について、「血液、体液

または血液媒介性病原体に対する耐浸透性を試験したものでなければならぬ」との見解を明らかにしています。

今回ニッセンケンが受注を開始した試験は、**AATCC 42 衝撃透過性試験**と**AATCC 127 静水圧試験**の2種類で、バリア性能を示す「AAMI PB70」基準に採り入れられているものです。

参考：液体防御性能基準(AAMI)

| Level | 試験方法 | 結果 |
|-------|---|-------|
| 1 | 衝撃透過性試験 (AATCC42) | ≤4.5g |
| 2 | 衝撃透過性試験 (AATCC42) | ≤1.0g |
| | 静水圧試験 (AATCC127) | ≥20cm |
| 3 | 衝撃透過性試験 (AATCC42) | ≤1.0g |
| | 静水圧試験 (AATCC127) | ≥50cm |
| 4 | 人工血液噴霧による透過性試験 (ASTM F1670) 血液由来病原体の透過性試験 (ASTM F1671) | Pass |

本試験につきましては**東京事業所**にてお問合せ・ご依頼をお受けしています。どうぞお気軽にご連絡ください。なお、ご依頼の際に AATCC あるいは PB70 対応試験かをお申し出いただけますと幸いです。

「アイソレーションガウン」と「サージカルガウン」の2種類。その違いは？

アイソレーションガウンは、前面だけでなくガウン全体のバリア性が考慮されています。

一方、サージカルガウンは、前面と背面ではバリア性に違いがあります。前面がバリア性に優れていても、背面のバリア性が低い場合は、例えば AAMI などでは、バリア性が低い方に分類されます。

本件に関するお問い合わせ先 ~ぜひお気軽にお問い合わせください~

東京事業所 TEL:03-5809-1360 E-mail:tokyo@nissenken.or.jp

〒111-0051 東京都台東区蔵前 2-16-11 ニッセンケンビル 5F

Nissenken WEB

ニッセンケン

拠点情報は

こちらから

